

「滋賀県スポーツ推進計画に基づく施策の実施状況」について

(平成28年度実績)

1. 趣旨

滋賀県スポーツ推進条例第9条に基づき、「滋賀県スポーツ推進計画に基づく施策の実施状況」について、県議会9月定例会議に報告する。

なお、平成27年12月14日に当条例が公布、施行されたことから、平成28年度の取組にかかる報告が初めてとなる。

平成29年8月18日に開催した滋賀県スポーツ推進審議会において報告した。

2. 実施状況の概要

第1 概要

○滋賀県スポーツ推進計画では、10年間の取組における目指す姿として、平成25年度から平成29年度までの5年間の計画期間とし、各分野での目標を定めて、5つの基本方針に基づくスポーツの展開方策を実施した。

目指す姿

すべての県民が身近にスポーツを楽しみ、自ら進んで参画し、互いに連携・協働することを通じて、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会の実現

基本方針

- 1 自ら行うスポーツ活動の充実
- 2 次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実
- 3 スポーツ環境の充実
- 4 スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化
- 5 滋賀の特性を活かしたスポーツの推進

第2 施策の実施状況のまとめ

(1) 自ら行うスポーツ活動の充実 (基本方針1)

○生涯スポーツ推進事業

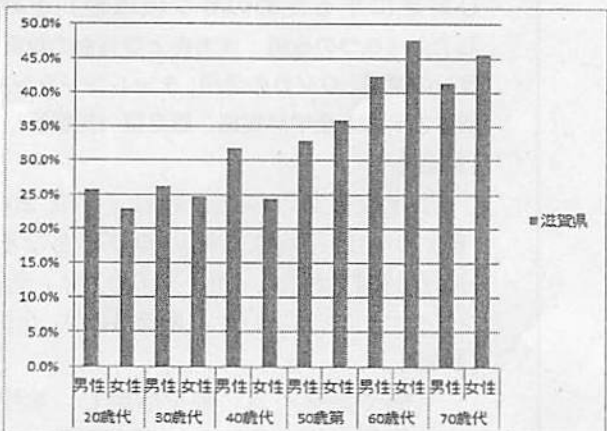
○ 県民の誰もが参加できる「県民総スポーツの祭典」を開催し、36,338人が参加した。

○【評価】

県民のスポーツに参画する機運の醸成に資するとともに、健康づくりや地域づくりにつなげることができた。

○【課題】

より一層、関係競技団体等と連携し、国体・全国障害者スポーツ大会への機運醸成を図る必要がある。



世代別・性別 スポーツ実施率(週1回以上)

○障害者スポーツ開催事業

○平成28年5月から11月に滋賀県障害者スポーツ大会を、7月に知的障害者（児）を対象としたスペシャルスポーツカーニバルを開催し、1,482人が参加した。

○【評価】

県内の障害のある人に対して社会参加の機会の提供につなげるとともに、全国大会への選手選考も兼ねており、競技力の観点からも重要な大会となっている。

○【課題】

大会参加者の固定化、高齢化の傾向にあり、新規参加者の拡充に取り組む必要がある。



スペシャルスポーツカーニバルでの競技風景

○スポーツボランティア支援事業

○県内におけるスポーツボランティア活動の充実を図るため、啓発物品の作成とともに、スポーツボランティア支援事業説明会、ボランティア講習会を開催した。

○【評価】

個人登録に加えて団体登録ができる仕組みを構築して募集を行い、新たに245人の登録者の増加につながり、合計334人の登録となった。

○【課題】

ワールドマスターズゲームズ2021関西などの開催に向け、さらなるスポーツボランティア登録者の増大、登録者への情報提供により、ボランティア活動の充実を図る必要がある。



スポーツボランティアの活動風景
(びわ湖レイクサイドマラソン)

(2) 次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実 (基本方針2)

○子どもの体力向上推進事業

○運動の習慣化を図るため、県内すべての公立小学校で体力向上策である「健やかタイム」に取り組んだ。また、各小学校において「子どもを運動遊び好きにするための6つの取組」を継続して実践した。(6つの取組：体力向上委員会の設置、体力向上プランの推進、DVDの活用、チャレンジランキングの実施、新体カテスト全学年実施、認定証(記録証)の配付)

○【評価】

小学校男女の体力合計点(平成20年度との比較)が全国平均より高い伸び率となるなど、体力向上が図られた。(男：県0.07% 全国-0.48%)
女：県2.34% 全国1.28%)

○【課題】

「健やかタイム」等を活用し、学校の実情に合った取組を行っていく必要がある。

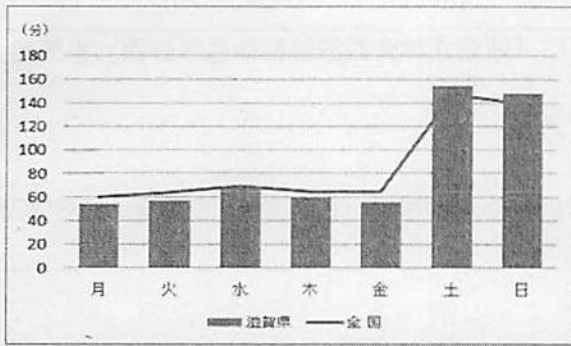


子どもの体力向上支援プログラム
「げんきな湖っ子」DVDシリーズ



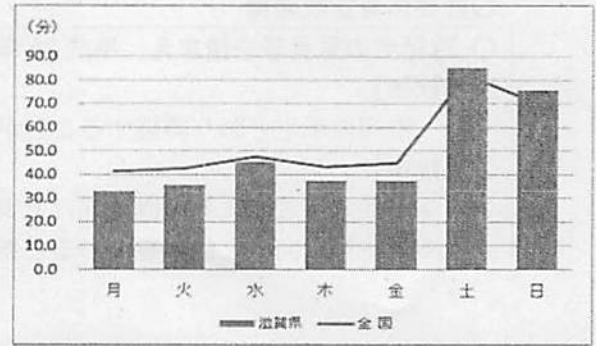
各小学校で取り組んでいる「健やかタイム」の時間

【小5男子】



	月	火	水	木	金	土	日	総計
滋賀県	54.2	56.6	68.4	59.1	55.6	154.5	147.8	990.7
全国	60.1	64.1	69.3	64.4	64.4	147.2	139.7	602.9
差	-5.9	-7.5	-0.9	-5.3	-8.8	7.3	8.1	-12.2

【小5女子】



	月	火	水	木	金	土	日	総計
滋賀県	32.9	35.4	45.2	37.4	37.5	83.2	75.6	347.2
全国	41.5	42.6	47.7	43.3	45.1	82.1	70.0	370.3
差	-8.6	-7.2	-2.5	-5.9	-7.6	1.1	5.6	-23.1

児童生徒の体育の授業以外の運動時間について（本県と全国の比較）

○運動部活動の工夫・改善支援事業

- 外部指導者を県内中学校、高等学校の運動部活動に派遣。（H28年度 中学校：22校 高校：12校）
- 【評価】
運動部における専門的な指導等の課題解消を図るとともに、実践研究校の指導研修会を通じて指導者の技能向上に取り組むことができた。
- 【課題】
学校組織全体で指導体制を構築するため、引き続き、指導に不安を抱える顧問の支援と指導力の向上に取り組む必要がある。

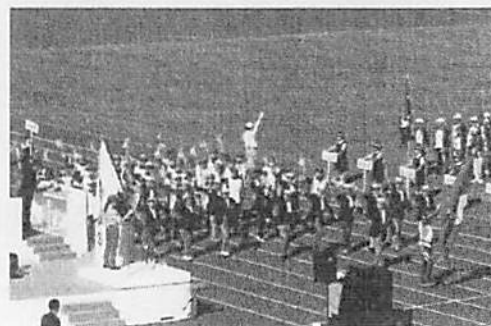
（3）スポーツ環境の充実（基本方針3）

○国体に向けた競技力向上対策事業

- 滋賀県競技力向上基本計画に基づき競技力向上対策本部において、「選手の育成・強化」「指導体制の充実」「強化拠点の構築・環境の整備」を柱とした競技力向上事業に取り組んだ。
- 【評価】
第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」では、天皇杯順位33位（得点888点）、全国障害者スポーツ大会では、金メダル35個、大会新記録3つを記録した。
- 【課題】
少年種別の競技力向上、成年種別のさらなる向上など、競技力の向上に努めていく必要がある。



レイキッズ選考会の風景
（次世代アスリート発掘プロジェクト）



平成28年度いわて国体

○社会体育施設整備

○ 懇話会の意見等を踏まえ、平成 29 年 3 月に「新県立体育館施設整備基本計画」を策定。

○【評価】

当初の予定どおり実施することができた。

○【課題】

P F I 方式による整備に向けた実施方針や要求水準書（仕様書）、事業者の選定基準の策定等に向けた作業を進める必要がある。

（４）スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化（基本方針４）

○しがスポーツの魅力総合発信事業

○ しがスポーツ大使として 26 者に委嘱し、しがスポーツ大使交流推進事業において 25 件の交流実績と、子どもたちによる県内トップチームの試合観戦を支援するしがスポーツの子事業では、1,157 人の小中学生の観戦実績があった。ポータルサイト「しがスポーツナビ！」に 76,626 件のアクセスがあった。

○【評価】

「する、みる、支える」の各場面でのスポーツ活動につながる多くの情報を発信できた。

○【課題】

さらに魅力あるコンテンツの配信を行い、県内のスポーツ機運を高める必要がある。

○東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業

○ ホストタウン第二次登録を受けて、滋賀県・大津市がデンマークを相手国としてボート競技を通じた交流、米原市・滋賀県がニュージーランドを相手国にホッケー競技を通じた交流、また、第三次登録を受けて、守山市・滋賀県がトルコを相手国に視覚障害者柔道・ゴールボールを通じた交流に取り組んだ。

○【評価】

行政・競技団体・大学・経済団体等による連携体制である「ホストタウン滋賀交流推進実行委員会」を設け、スポーツをはじめ文化等多くの交流事業に取り組むことができた。

○【課題】

既登録のホストタウンではスポーツに留まらない幅広い交流事業を実施するとともに、新たなホストタウン登録を目指す必要がある。

（５）滋賀の特性を活かしたスポーツの推進（基本方針５）

○ピワイチジョギング・サイクルツーリング支援事業

○ サイクルスタンド 8 か所、ランニングステーション 2 か所を設置

○【評価】

サイクリングやジョギングを行う人の利便性の向上を図った。

○【課題】

数を増やすことで、さらなる利便性の向上を図る必要がある。



サイクルスタンド

- 本県での伝統ある大会として朝日レガッタ、びわ湖毎日マラソン大会、市民参加の大会としてびわ湖レイクサイドマラソンなどを開催し、幅広い世代や県内外からの多くの参加者があった。
- 【評価】
本県の特徴を生かした大会開催につながった。
- 【課題】
より一層の参加者の増や、さらに充実した大会につなげていく必要がある。



びわ湖毎日マラソン